（小説）「棒」　授業プラン　４時間

本小説を通じて、都市に生活し、あるいは共同体に所属しながらも孤独であり、自己疎外の状況にある現代の人間とその生について思索する。シュールリアリズムの手法を用いているため一見捉えがたく感じる小説の主題や寓意表現を、多様性を許容しつつ読み解くことに挑戦する。小説読解における柱であり、小説の設問のメインフィールドである「心情‐イベント（言動・出来事・情景描写）の因果関係の把握」については、本小説の特異性のため多くをあてない。

本単元で獲得、習得を目指す汎用力・知識・スキルは次のとおり。

①主題把握力　主題の見える化

②アレゴリー（寓意・諷喩）対処力

③心情‐イベント（言動・出来事・情景描写）因果関係　構造の意識化

◎１時間目　アレゴリー概念の知識としての習得と理解・アレゴリーの発見と仮説構築

　準備物（ＷＳ１・ＷＳ２・ポスター原稿）

○アレゴリーとは　　**ＷＳ１**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１分）

　アレゴリー（寓意）　他の物事にかこつけて、それとなくある意味をほのめかすこと。

　　　　　　　　　　　ここでは比喩（はれぼったくむくんだような街　等）と区別

＊トレーニング

①「狸親父　女狐　はアレゴリーの一種」を紹介、意味の確認　【ペア　口頭】　（２分）

②「寓意の含まれた話＝寓話」　有名なのは？　　【ペア　口頭】　（４分）

「イソップ物語」の話一つ言え。　アリとキリギリス　北風と太陽　オオカミ少年　ウサギとカメ　…

あらすじを紹介しろ。

その話の寓意は？

「イソップ寓話」動物物語の形式をとりながら、人間存在の諸相を寓喩的に描く。単に表面上に現れた意味のレベルで理解すべき動物物語ではなく、そこに含まれた教訓が大切。

③「アレゴリー ストーリー　一つ考えろ」　　　　　　　　　　（１０分）

・まず「寓意」の方を決める　→　それを「寓意する」ストーリーを作る

身近なものでも、空想でもよい　【個人　記述】

　・輪読　【グループ４～５人】

○教科書本文黙読　約四一〇〇字（１０分）ＷＳ２配付

○「棒」に変身することが寓意するものとは？　**ＷＳ２**

＊準備　本文中のアレゴリーを見つけろ。その中で最も重要なものは何か。（５分）

①「棒」に変身することが寓意するものとは？

・仮説構築　【個人　記述】（５分）

・配布されたポスター原稿用紙に、解答を記入　（１分）

・最窓側と最廊下側の一番前がじゃんけん。負けた方は出張。列をずらして４人でシェア

◎２時間目　寓意仮説のシェアとブラッシュアップ

準備物（ＷＳ３　Ａ３用紙１２枚　カラーペン）

○輪読　約四一〇〇字（１３分）

②　前回①の仮説に従えば次に挙げるものは何を意味することになるか？【**ＷＳ２**個人　記述】（１０分）

　・先生、学生２名の発言

　　「おそらくこの棒が、生前、誠実で単純な心をもっていた」

　　「この棒は、ぜんぜん無能だったのだろうと思います。だって、あまり単純すぎる」

　　「すなわち、この棒は、棒であった」

　　「裁かないことによって、裁かれる連中」

　・先生が地面に描いた絵

　・その他（自分で見つけたものから）

※ＷＳ２　提出

○ベスト版「『棒』寓意解説」作成

・各自のポスター原稿用紙に基づき、寓意の仮説を相互説明。（４分）

・４（５）人グループで協議しながら、ベスト版「『棒』寓意解説」を作成する。（１２分）

・Ａ３用紙清書用紙、カラーペン可。

・グループ全員が、前回の②各項についても説明できるように準備

＊次回　辞書・便覧　用意

◎３時間目　主題把握

準備物（ＷＳ４　辞書・便覧　用意）

○ベスト版「『棒』寓意解説」ピアインストラクション（ポスターセッション）（計１５分）

①　二つのグループを組み合わせ、グループパートナーにする。くじ利用。

②　それぞれのグループの４人を２・２（Ａ／Ｂ）に分ける。（５人は３・２）（１分）

③　Ｂの二人がそれぞれのパートナーグループへ移動し、受け入れるＡの二人から説明を受ける。（２分）

④　その後元に戻り、次はＡの二人が同様に移動し説明を受ける。（２分＋α）

⑤　組み合わせを変え、別のグループをグループパートナーにする。（１分）

⑥　③④をもう一度行う。（６分）

＊「ベスト版「『棒』寓意解説」提出。メンバー、クラス、月日を明記。

○問１　この小説の主題を答えよ。（計２５分）

＊ヒント１　Ｐ１２４　阿部公房　紹介文からの分析　個人（７分）

　「疎外された人間の諸状況を超現実的な手法で描き出した」

①疎外とは何か

②疎外された人間の諸状況とはどのようなことが想定できるか

③超現実的な手法とは具体的にどのようなものか

　・グループ（３～４人）でシェア（４分）

＊ヒント２　主題の見える化　（説明・確認　１０分）

主題＝主材＋主想

　　「主材を通して主想を描く」の形式で表わすことができる。（もちろん違う形式でもよい）

　　主材＝舞台・登場人物・ストーリー

　　主想＝モチーフ・創作動機・作品を書くに至ったきっかけ

◎４時間目　シェア　重要事項確認

準備物（ポスター用紙（Ａ３）カラーペン　Good jobシール　ＷＳ５　ＷＳ６（ＱＳ・例解）　）

○・主題記述　前時をもとに（５分）

○ポスター制作　　多様な読み・解釈の共有と、それによる視野の拡大・思考の深化　（計１５分）

　・ポスター制作　「棒」を映画OR演劇化。ＰＲのためのポスターを制作する。（Ａ３ポスター用紙）

・「棒の絵」「主題」は必須。工夫してことばや絵を加える。

　　・ポスター原稿用紙をもとに行う。

○シェア　多様な読み・解釈の共有と、それによる視野の拡大・思考の深化

・美術館方式　できるだけ多くのポスターにあたり「主題」を読む。メモを取りながら。

ＷＳ５（計１０分）

○ＱＳ　ＷＳ６（ＱＳ・例解）配布

○主題確認　ＷＳ６

○アレゴリー　例解　ＷＳ６